

台湾緑島から採集されたカミキリモドキ科2種の記録

秋山秀雄

〒236-0038 横浜市金沢区六浦南1-26-28

Two Oedemerid Species Newly Recorded from Ludao Is., of Eastern Taiwan

Hideo AKIYAMA

筆者はここ数年、台東縣在住の周文一博士とつくば市在住の山迫淳介博士から、両博士が採集された台湾産カミキリモドキ科甲虫を多数恵与していただいている。それらを調査した結果、緑島産のなかに興味深い種が含まれており、新産地になるので報告する。いつも貴重な標本を恵与して下さる両博士に御礼を申し上げる。

エダヒゲカミキリモドキ *Schistopselaphus sonani*
Kôno, 1937 (図1)

2♂♂, Ludao Is., Ludao Township, Taitung County (台東縣綠島鄉綠島), 4-6. IV. 2012, J. Yamasako leg.

1920年3月10日から4月14日の間に紅頭嶼(現蘭嶼)で採集された2雄1雌をもとに記載された種で、その後の記録はない。この種は、雄の小髭の末端節が深く二分して、外枝が内枝よりも長く、腹部末端節後縁中央は半月形に切れ込む特徴がある。

フトヒゲカミキリモドキ *Hyperopsclaphus ikedai*
Mizota, 1999 (図2, 3)

1♂, 2♀♀, Wenquancun, Ludao Is., Ludao Township,

Taitung County (台東縣綠島鄉綠島温泉村), Taiwan, 7. V. 2018, W.-I Chou leg.

八重山諸島(黒島, 西表島)と台湾(鵝鑾鼻)産をもとに記載された種である。台湾に関してはその後の記録はないが、筆者は屏東縣南部の恆春半島産の標本を検視している(未発表)。この種は、小髭の末端節が雄では肥大し、外縁の内側は広くえぐられ、雌では斧状である。また、雄の後腿節はやや太くなる。

引用文献

- Kôno, H., 1937. Neue und wenig bekannte Käfer Japans, II. Oedemeridae. Insecta Matsumurana, Sapporo, 11 (4): 135-146.
Švihla, V., 2008. Family Oedemeridae Latreille, 1810. Pp. 45, 353-369. In Löbl, I., & A. Smetana (eds.), Catalogue of Palaearctic Coleoptera, 5. Tenebrionoidea. 670 pp. Apollo Books, Stenstrup.
Mizota, K., 1999. A new genus and species of Asclelini (Coleoptera: Oedemeridae) from the Yaeyama Islands (Japan) and Taiwan. The Coleopterists Bulletin, 53 (3): 287-292.

(2018年8月24日受領, 2018年9月8日受理)



図1-3. 緑島産カミキリモドキ科. 1. エダヒゲカミキリモドキ♂; 2. フトヒゲカミキリモドキ♂; 3. フトヒゲカミキリモドキ♀.